

類例 My favorite subject **is (not)** math.

私の得意教科は数学です [数学ではありません]。

I **(do not) go** to the library by bus.

私は図書館までバスで行きます [バスでは行きません]。

It **may (not) snow** tomorrow. 明日は雪が降る [降らない] かもしれません。

| 現在形 | | | 過去形 | | |
|-------|-----------|-----------|--------|------------|-----------|
| 肯定形 | 否定形 | 否定短縮形 | 肯定形 | 否定形 | 否定短縮形 |
| am | am not | — ※ | was | was not | wasn't |
| are | are not | aren't | were | were not | weren't |
| is | is not | isn't | was | was not | wasn't |
| do | do not | don't | did | did not | didn't |
| does | does not | doesn't | did | did not | didn't |
| can | cannot ※ | can't | could | could not | couldn't |
| will | will not | won't ※ | would | would not | wouldn't |
| shall | shall not | shan't ※ | should | should not | shouldn't |
| may | may not | — ※ | might | might not | mightn't |
| must | must not | mustn't ※ | — | — | — |

※ am と may には否定短縮形はない。主語が I の場合には、I'm not ... という形で短縮形が用いられる。主語が 3 人称単数の場合には、It isn't ..., It's not ... という短縮形が用いられることもある。cannot は (主に書) で通例 1 語でつづられる。mustn't は /mʌs(ə)nt/ と発音される。shall not の短縮形 shan't は (英・やや古) で、(米) では won't (発音は /wóunt/) を用いる。mightn't はごく (まれ) 。

練習問題1：日本語に合うように単語を並び替えなさい

→解答 p.30



- 私は毎朝徒歩で学校に行っている。
I (foot / on / to / go / school) every day.
- 夫は料理が得意ではない。
My (cook / isn't / good / a / husband).
- 定期考査が終わったので、明日は友達と遊ぶつもりだ。*遊ぶ：hang out
The term test is over. I (friends / with / hang out / will / my) tomorrow.

※ Yes-No 疑問文への答え方は以下のようにする。

| | Yes-No 疑問文の答え | |
|-----------|----------------------------|--------------------------------------|
| | Yes | No |
| (1) be 動詞 | Yes, 〈主語+ be 動詞〉. | No, 〈主語+ be 動詞+ not〉. ※ |
| (2) 一般動詞 | Yes, 〈主語+ do [does, did]〉. | No, 〈主語+ don't [doesn't, didn't]〉. ※ |
| (3) 助動詞 | Yes, 〈主語+助動詞〉. | No, 〈主語+助動詞+ not〉. ※ |

※ No の後は短縮形を使うのが普通。

それぞれの応答の例を挙げると、以下の通り。

(1) “Are you okay?”

“Yes, I am (okay).” / “No, I’m not (okay).”

(2) “Do you want to come with us?”

“Yes, I do.” / “No, I don’t.”

(3) “May I use your computer?”

“Yes, you may.” / “No, you may not.”

No の後は
短縮形



発展 Yes / No を用いない返答

Yes-No 疑問文に対して、必ずしも Yes / No を用いずに答えることもある。

“Do we have to work overtime?” “I hope not.”

「残業しなくちゃいけませんか」「そうでないといいけど」

“Will everything be all right?” “Who knows?”

「万事うまくいくかなあ」「さあねえ」

〔“Who knows?” は直訳すれば「いったい誰が知っているだろう」となるが、修辭疑問(→第 14 章 p.397) で “I don’t know.” (わかりません) や “Nobody knows.” (誰にもわからないでしょう) などを含意するあいまいな返答〕



【!】 Yes-No 疑問文を声に出して言う場合は通常、上昇イントネーション↑となる。

2 Wh- 疑問文

7 “Who wrote this song?” “Billie Eilish did.” 7

「誰がこの曲を書いたのですか」「ビリー・アイリッシュです」

8 “What did you do last Sunday?” “I went shopping at the mall.” 8

「この間の日曜日は何をしましたか」「ショッピングセンターに買い物に行きました」

9 “When did you see that movie?” “Last weekend.” 9

「いつその映画を観たのですか」「先週末です」



- 一般動詞を使った文 : 〈疑問詞+ do [does, did] +主語+動詞の原形〉
- be 動詞を使った文 : 〈疑問詞+ be 動詞+主語〉
- 助動詞が含まれている文 : 〈疑問詞+ 助動詞+主語+動詞の原形〉

類例 What is your favorite subject? あなたの得意教科は何ですか。
 When did you come to Japan? 来日されたのはいつ頃でしたか。
 Why were you late for class? なぜ授業に遅れたのですか。
 When does the game start? 試合開始はいつですか。

コミュニケーション Wh- 疑問文のイントネーション

Wh- 疑問文の場合、文末は通例下降イントネーション↘となるが、子どもに優しく問いかける際などに、上昇イントネーション↗が選択される場合もある。

練習問題 2 : 以下の和文を英語に訳しなさい

→解答 p.33

- ① 「これは彼の辞書ですか」「はいそうです」
- ② 「彼女はバスケット部にいますか」「いいえ、違います」
 *…に所属している : belong to ...
- ③ 「トイレを使ってもいいですか」「はい、どうぞ」 *トイレ : the bathroom

3 選択疑問文

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| <p>13 Which season do you like better, <i>summer or winter</i>? 夏と冬と、どちらの季節が好きですか。</p> <p>14 Would you like to order <i>at the store or online</i>? ご注文は店頭がご希望ですか、それともオンラインですか。</p> |  | <p>13</p> <p>14</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|

選択疑問文は〈A or B?〉のように複数の選択肢から答えを選択させる疑問文である。

13は Which season do you like better ... と問いかけた上で, *summer or winter?* と選択肢を or (あるいは) で並列して示している。答えるときは、たとえば I like summer better. あるいは I prefer summer. などとする。

14は Would you like to order? と問いかけ、答えを絞り込むために選択肢を示している。答えるときは I would like to order at the store [online]. などとする (〈くだけた話〉では At the store [Online]. だけでも通じる場面もある)。

類例 Which fruit do you like better, *apples or bananas*?
 リンゴとバナナでは、どちらのフルーツが好きですか。

類例 Which fruit do you like better, *apples or bananas*?

リンゴとバナナでは、どちらのフルーツが好きですか。

Would you like *tea or coffee*? 紅茶かコーヒーはいかがでしょうか。

Which would you prefer, *this brown jacket or that gray one*?

この茶色のジャケットとあちらの灰色のものと、どちらがお好みでしょうか。

[!] 選択肢が提示されていれば、《話》では選択疑問文の時に **which** のかわりに **what** を使うこともできる。

What kind of food do you prefer, *Chinese or Italian*?

どのような料理がお好きですか、中華料理ですか、イタリアンですか。

コミュニケーション 選択疑問文のイントネーション

〈A or B〉のイントネーションは、通例 〈A ↗ (上昇イントネーション) or B ↘ (下降イントネーション)〉のようになる。〈A, B, C or D〉のように3つ以上の選択肢の場合、〈A ↗, B ↗, C ↗ or D ↘〉と最後の選択肢のみ下降調になる。

※最後の選択肢を↗上昇調にすると、与えられた選択肢以外の答えが想定されることになる場合もある。

“Do you like jazz ↗ or pop music ↗?” “No, ... I don't really like either. Actually, I like classical music.”

「君はジャズが好き、それともポップス？」「いや…、どっちもそれほど好きじゃないんだ。実を言うとクラシックが好きなんだ」

3 命令文

1 肯定の命令文

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|----|
| 15 Take a seat. 座りなさい。 | 15 |
| 16 Hold on a second. ちょっと待ってください。 | 16 |
| 17 Be quiet. Our baby is sleeping! 静かに、うちの赤ちゃんが寝ています。 | 17 |
| 18 Let's take a look at the shelf over there. あそこの棚を見てみましょう。 | 18 |

「…しなさい」「…してください」のように、指示や依頼をする文を**命令文**と呼ぶ。一般動詞を含む文の場合、**1516**のように動詞の原形を文頭に置く。相手に向かって言っているので主語〔最も一般的にはYou〕は省略される。be 動詞を含む文の場合、**17**のようにbe 動詞の原形を文頭に置き、同様に主語は省略される。

18の〈Let's +動詞の原形〉は、「…しましょう」という勧誘・提案の表現である（let's は let us の短縮形なので使役動詞 let を用いた命令文の一種とみることができる）。

答えるときはYes, let's. (ええ、そうしましょう) / No, let's not. (いや、やめときましょう) などとする。

類例 Get out of my room, right now. 今すぐ私の部屋から出て行って。

Keep your mouth shut. 黙れ。

Be careful when you ride a bike. 自転車に乗るときは気をつけなさい。

【!】 命令のニュアンスを和らげるためには、please を文頭または文末に置いて、たとえば、Please take a seat. / Take a seat, please. のようにする。

ただし、あくまで命令文であり、丁寧な依頼をしていることにはならないので注意が必要。話し手に利益のあることについて、「…していただければうれしいです」といった気持ちを表す。

文末に置くと、話者がある場を管理する立場にあることを暗示し、文脈によっては失礼に響くことがある。

ただし、文末でplea-eseのように長めに発音すると、社会的に弱い立場の者が懇願したり許しを請うたりするときの表現となる。

逆に、「ほかのだれでもなくお前に言っているのだ」と相手に強く命令するような場合には、You take a seat! (君、座りなさい!) とYou を文頭に置くことがある。その際、You は強く発音される。

また、命令文の後に、..., will you? / ..., shall we? (ノ上昇調) という付加疑問をつけると、「…してくださいね」「…しましょうか」のようにやわらかな語調になる(▶第14章 p.396)。

Call me on my cell (phone), **will you?** 私の携帯に電話してくださいね。

Let's have some ice cream for dessert, **shall we?**

デザートにアイスクリームでもいただきますでしょうか。

ここが Point! Let's と Let me の区別



〈Let's + 動詞の原形〉は「(私たちと一緒に) …しましょう」という勧誘・提案。

〈Let me + 動詞の原形〉は「私に…させてください」という申し出・お願い。

let's は let **us** の短縮形なので「**私たち**と一緒に」を意識すると混同することがないだろう。

Let's take a fifteen-minute break. 15分ほど休憩しよう。

Let me help you with your suitcase. スーツケースをお持ちしましょう。

Please **let me** introduce Mr. Fujita, the President of ABC Company.

それでは、ABC 社社長の藤田氏をご紹介させていただきます。

2 否定の命令文



19 **Do not** enter the room. その部屋に入ってはいけません。 19

20 **Don't** be afraid of making mistakes. 失敗を恐れるな。 20

21 **Never** use your smartphone while walking. 絶対に歩きスマホはするな。 21

22 **Let's not** be late for school. 学校には遅刻しないようにしましょう。 22

否定の命令文は、〈Don't [Do not] + 動詞の原形〉の形をとり、「…するな」という意味を表す。

解答 2 ① “Is this his dictionary?” “Yes, it is.”

② “Does she belong to the basketball club?” “No, she doesn't.”

③ “Can I use the bathroom?” “Yes, you can.”

「決して…するな」のように強い禁止を表すには、21のように、Don'tの代わりにNeverを用いる場合もある。

〈Never + 動詞の原形〉はneverがnot ever = not at any timeの意味であることから、「今…するな」という1回きりの命令には使わず、「日頃から…するな」という場面で用いられる。〔Never mind. (気にするな)のような慣用表現は例外〕



22のLet's not ... はLet's ... の否定形で、「…しないようにしましょう」という意味。
 ※(英)ではDon't let's ... の形が、また(米・よりくだけて)ではまれにLet's don't ... の形も用いられることがある。

類例 Don't answer the phone. 電話に出てはいけません。

Don't ask me any questions. 私に質問をしないでください。

Don't be ridiculous. ばかなことを言うな。

Don't worry. Everything would be all right.

心配するな、すべてはうまく行くから。

Don't forget to bring your dictionary.

辞書を持ってくるのを忘れないように。

発信のヒント 友好的な命令文？



英語では、命令文の形をとっていても、相手に対して友好的な意味で用いられる場合もよくある。相手にとって利益になることは、感情を込めて強めに指示する方が丁寧な気持ちを伝えることができるから。また、話者の利益のためでなく聞き手の利益を願っている場合は、日本語で「…してください」となっている場合でも please は付けない。

Have a nice trip! よい旅を！

Come and see us any time. いつでも遊びに来てね。

Please give my best regards to your family. ご家族の皆様にご挨拶をどうかよろしく。

英語の原理 命令文ではなぜ動詞の原形が用いられるのか？

命令文とは、相手に対してこれから何かをする、何かの状態になることを求める文。その動作や状態はまだ現実には生じていない。

例えば be 動詞を例にとれば、命令文では時制は問題にならないので、現在形の is/are や過去形の was/were ではなく、原形の be が選択されることになる。

以下の 2 文を比べてみよう

- a) You, **be** quiet! 君、静かにしたまえ。
- a') You are quiet. 君は静かだ。
- b) Somebody, **open** the window! 誰か、窓を開けてくれ！
- b') Somebody **opened** the window. 誰かが窓を開けた。



練習問題 3：日本語に合うように適切な単語をカッコ内に入れなさい

→解答
p.35

- ① 子どもが寝てるんだから、ドアは静かに閉めなさい。
() the door quietly because our baby is sleeping.
- ② 雪が降っているね。外で遊ばない？
It's snowing. Let's play outside, () we?
- ③ 学校を出たら電話してね。
() me when you leave school, () you?

4 感嘆文

- | | | |
|----|---------------------------------------------------------------|----|
| 23 | What <i>a beautiful city</i> Kyoto is! 京都は何て美しい街なんだろう。 | 23 |
| 24 | How <i>lucky</i> you are! 君は何てラッキーなんだ。 | 24 |

感嘆文は驚きや賞賛など強い感情を示す時に用いられる。感嘆文は以下の2種類に分かれる。文末には通例感嘆符(！)をつける。

- 〈形容詞+名詞〉を強調：〈**What (a [an]) +形容詞+名詞+ S + V**〉の形を使う。
〔形容詞の後の名詞が複数形の場合や不可算名詞の場合は名詞の前に a [an] はつかない。〕
- 〈形容詞・副詞〉を強調：〈**How +形容詞 [副詞] + S + V**〉の形を使う。

類例 **What a fabulous singer** she is! 彼女は何とすばらしい歌手なのでしょう。

What an interesting book it is! これは何と面白い本なのでしょう。

What an incredible show it was! 何とまた最高のショーだったのだろう。

What an amazing time we had at the party!

そのパーティでは、何とまたすばらしいひと時を過ごしたことでしょ。

What heavy traffic you have in Tokyo!

東京の交通渋滞は何とひどいことか。

How useful his advice was! 彼のアドバイスは何と的確だったことか。

How boring this movie was! この映画は、何とまあ退屈だった。

【!】 感嘆文は通例文末に感嘆符(！)をつけるが、つけない場合も見られる。また、〈主語+動詞〉が省略されることもある〔日常会話ではふつう省略される〕。

How nice of you to pick me up at the station.

駅までお迎えに来てくださって、本当にありがとうございます。

How interesting! 何と面白い。〔!の前に it is などが省略されている〕

What a waste! 何たる無駄でしょうか。〔!の前に it is などが省略されている〕

【!】 (1) 感嘆文で「多い」ことを言いたい場合には、many, much ではなく、a lot of を用いる

What a lot of flowers! なんとたくさんの花だ!

(2) yes/no 疑問の語順で、感嘆の気持ちを表す場合もある。

Is he mad! 彼は気でも触れているのか!

Did he annoy me! 本当に彼にはムカついたわ!